

# 健康保険委員アンケートの結果について

# アンケートの概要

## 実施目的

---

加入者の参画による事業の推進を図るとともに、加入者の意見・要望を把握し、今後の島根支部の事業運営に活用する。

## 実施方法

---

平成26年9月に発送する「だんだん健康29号」に同封する。なお、アンケート返送用の返信用封筒を同封する。

## アンケート対象者

---

健康保険委員 1,143名

## 回答状況

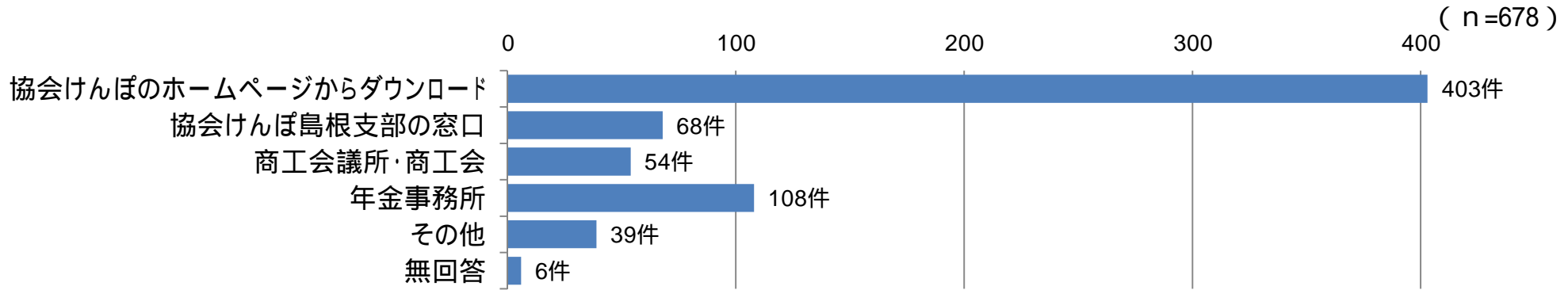
---

回答数 667件(回収率 58.4%)

# 集計結果

## . 各種手続きについて

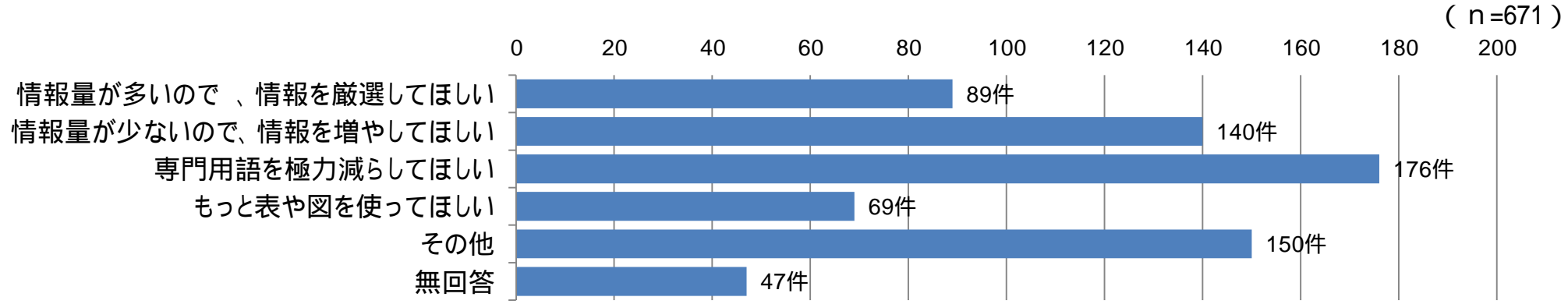
問1 協会けんぽへご提出いただく給付金等の申請書は主に、どのような方法で入手していますか。（いずれか一つ）



その他の主な記述  
・ 社会保険労務士（事務所）へ依頼【25件】 ・ まだ申請をしたことがない【5件】 ・ 商工会から入手している【2件】 ・ 税理士事務所へ依頼【1件】 ・ 郵送で取り寄せ【2件】

## . 広報について

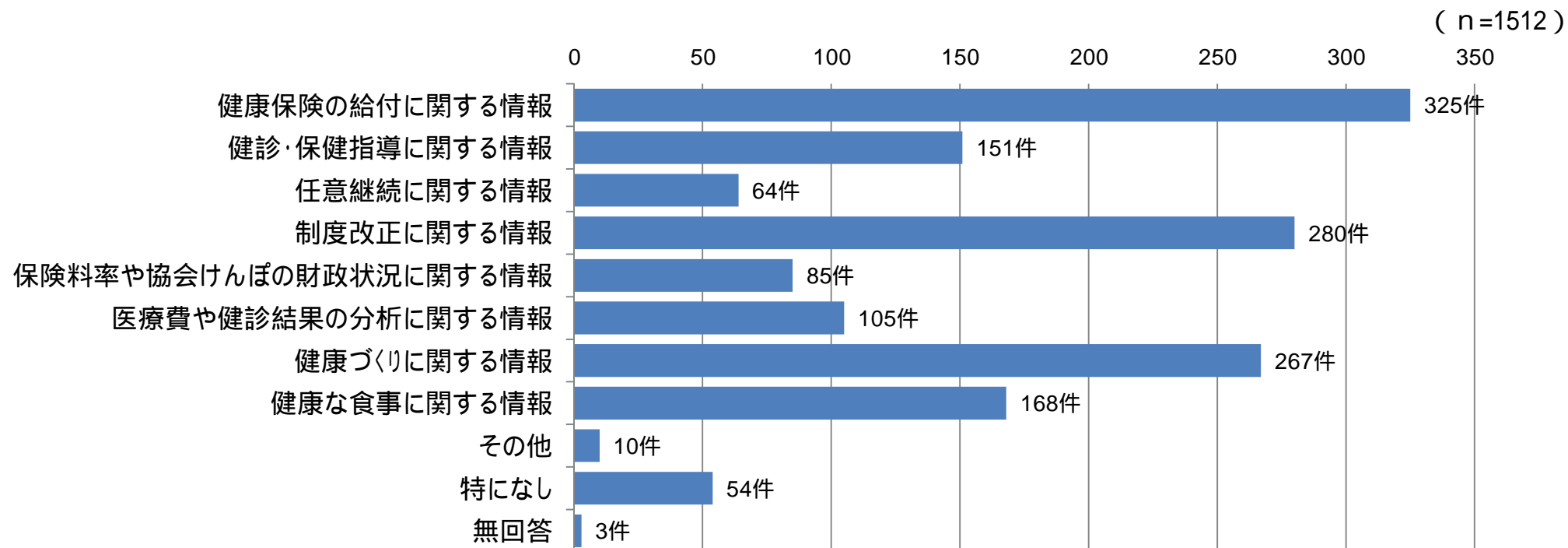
問2 健康保険委員様向け情報誌「だんだん健康」についてお聞きします。より分かりやすく、読みやすい情報誌にするため、どのような点を改善した方が良いと思われますか。（複数回答可）



### その他の主な記述

・現状のままでよい、特になし【107件】 ・レイアウトを工夫してほしい（字を大きくしてほしい、明るい色を使ってほしい、3項目程度にしぼる）【7件】 ・へるし～レシピを工夫してほしい（別紙にする、もっと簡単なレシピにする）【2件】 ・もっと委員に役立つ情報の記載【1件】 ・女性が見ることが多いので、女性が興味をもつ内容【1件】 ・保健師等コラムのような元気になれるコーナーを増やしてほしい【1件】 ・様々な病気に対する専門医療機関を紹介してほしい【1件】

### 問3 「だんだん健康」において今まで以上に充実すべき情報はなんだとお考えですか。（複数回答可）

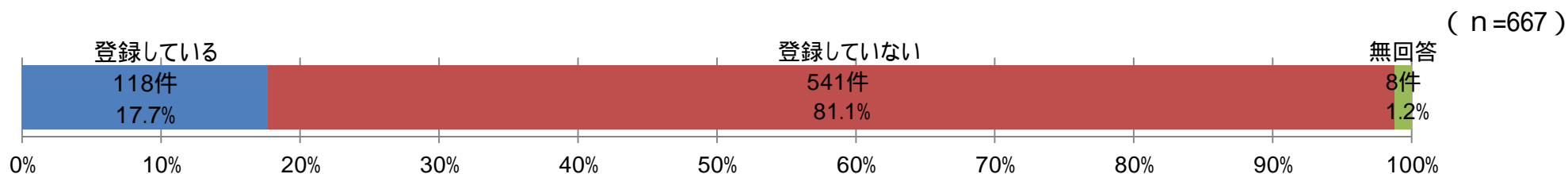


### その他の主な記述

・社員が知って得する情報【2件】 ・メンタル面でポジティブな思考ができるような情報【1件】 ・制度の内容に関する情報【1件】 ・ジェネリック医薬品の周知【1件】

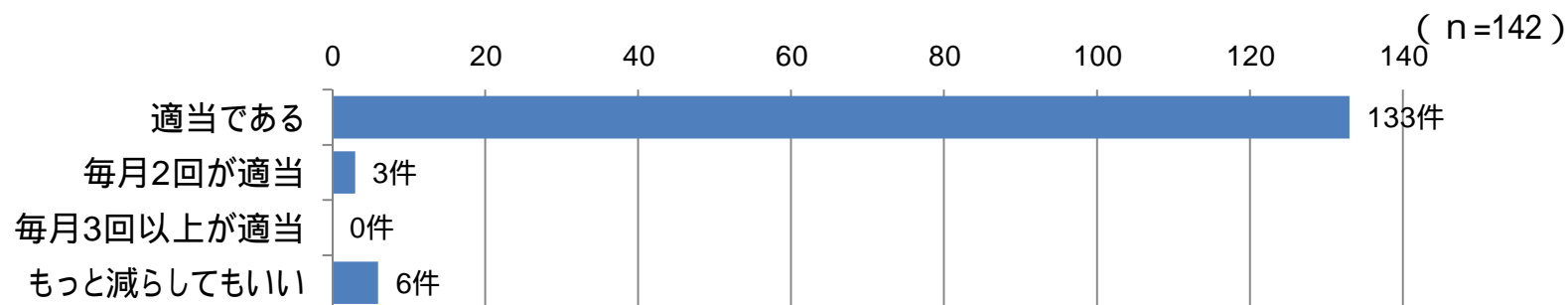
問4

島根支部では、健康保険制度に関する最新の情報や手続の方法、健康づくりに役立つ情報などをいち早くお届けするため、メールマガジン「くにびき 通信」を毎月無料で発行しています。メールマガジンを登録していただいていますか。（いずれか一つ）



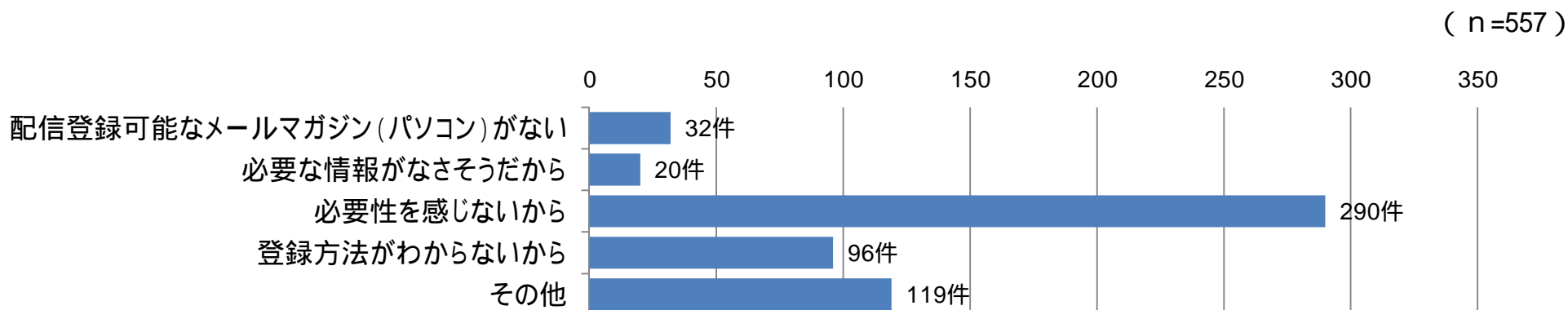
問5

上記4の設問において「登録している」とご回答された方にお聞きします。メールマガジン「くにびき 通信」は毎月1回（原則15日）と臨時号（25年度は2回）の配信をしています。配信頻度は適当だと思いますか。（いずれか一つ）



問6

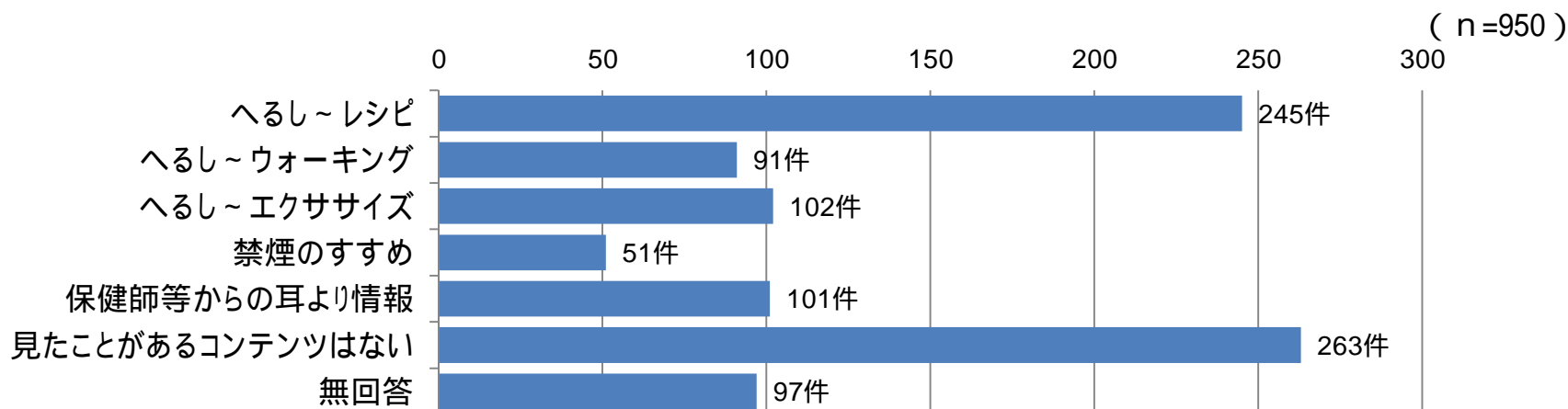
メールマガジンの配信登録をしていただけていない理由について教えてください。（問4で 登録していないと回答した方）（複数回答可）



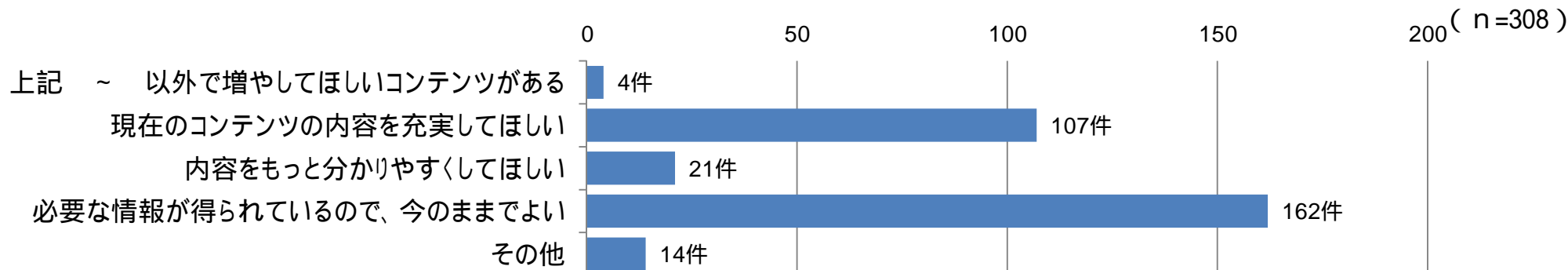
### その他の主な記述

- ・メールマガジンを配信していることを知らなかった【47件】
- ・広報誌等の紙面で情報は得られるため【8件】
- ・忙しい、時間がない【7件】
- ・メールマガジンは登録しないようにしている（セキュリティの関係上）【6件】
- ・ホームページで情報は得られるため【4件】
- ・メールの量が多くチェックできない【3件】
- ・メールを受信できるパソコンが少ないため不便【2件】
- ・どのような内容からわからない【2件】
- ・メールだと見なさそう【1件】

問7 島根支部のホームページ内の健康増進支援サイト「へるし～まね」についてお聞きします。「へるし～まね」のうち、ご覧になったことがあるコンテンツを教えてください。（複数回答可）



問8 上記7の設問において、～にご回答された方にお聞きします。「へるし～まね」をご覧になられた感想をお聞かせください。（いずれか一つ）



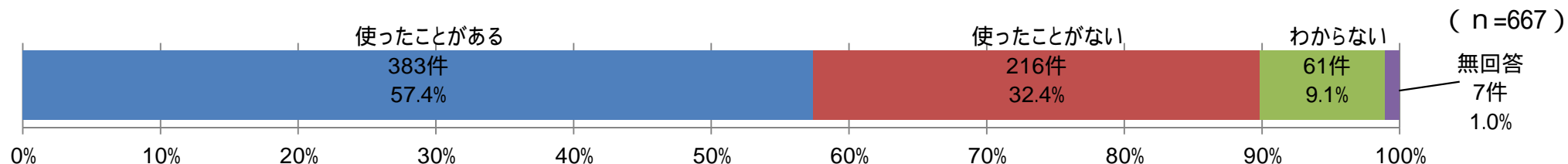
## その他の主な記述

- ・「へるし～レシピ」の写真をもっと美味しそうに撮ってほしい【2件】
- ・判り易い絵と説明でこれなら続けられそうという気持ちになる【1件】
- ・月ごとに従業員へお知らせする資料に使わせてもらっているが今月の情報が次月へお知らせする様になり事前にお知らせする様に出来ないかと思っている【1件】

## .医療費適正化について

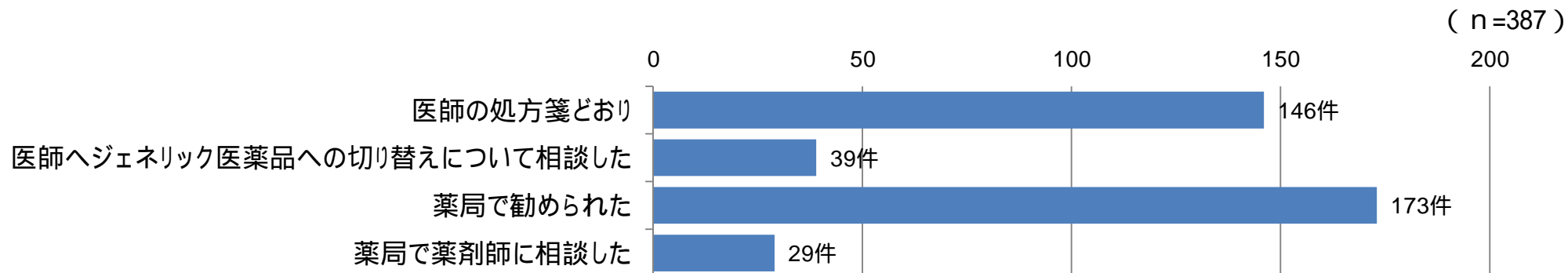
問9

協会けんぽでは、加入者の皆様のお薬代の負担軽減や医療保険財政の改善につながるジェネリック医薬品の普及を推進しています。島根支部における医薬品に占めるジェネリック医薬品の割合については、平成26年4月時点で36.2%（全国平均35.2%）となっています。ジェネリック医薬品を使用されたことがありますか。（いずれか一つ）

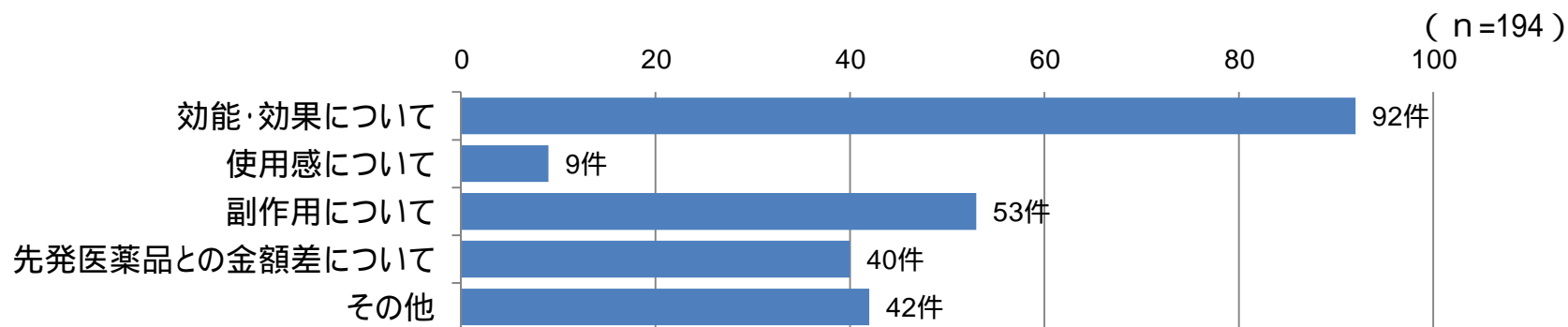


問10

上記9の設問において「使ったことがある」と回答された方にお聞きします。使用されたきっかけについて教えてください。（いずれか一つ）



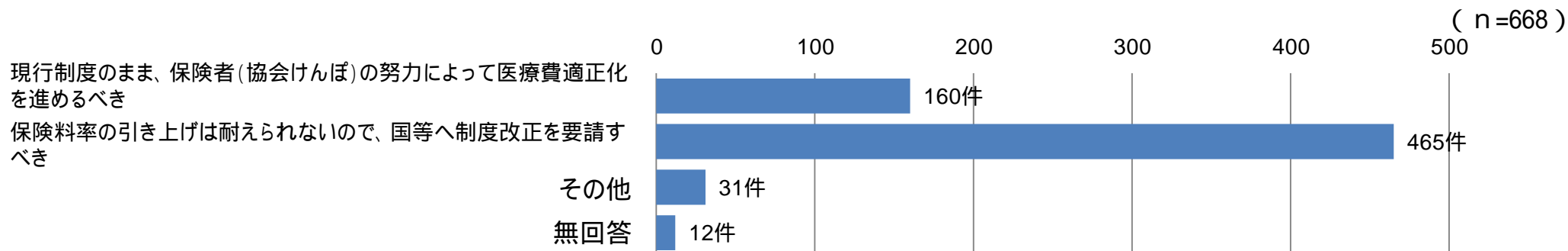
問10 上記9の設問において「使ったことがない」と回答された方にお聞きします。どのようなことがわかれば、使ってみたいと思いますか。（いずれか一つ）



その他の主な記述

・病気になっていない、薬を必要としていない【16件】 ・医師から提案、指定されれば【3件】 ・医師からの処方せんどおり【3件】 ・医師に積極的に働きかけてほしい、患者は医師の云う通りにしかできないと思う【2件】 ・担当医がジェネリックに批判的なため【1件】 ・使いたいと言ったら医院では在庫としてジェネリックを置くスペースもないと言われた【1件】 ・医師から取扱いがないので出来ないと言われた【1件】 ・使ってみたいが切り替えのきっかけがわからない【1件】 ・ジェネリック医薬品がなかった【1件】 ・今後、機会があれば使ってみたい、保険証には「ジェネリック希望」表示を貼付しています【1件】

問11 協会けんぽでは、ジェネリック医薬品の使用促進のほかレセプト点検、健診・保健指導等の医療適正化の取組を実施していますが、健康保険制度の改正がなければ、医療給付費の増加・高齢者医療制度の拠出金の増加により、今後、大幅に保険料率が上昇することも想定されます。このことについて、あなたのお考えにもっとも近いものを教えて下さい。（いずれか一つ）





## その他の主な記述

・ジェネリックを浸透させて医療費を抑えてほしい【3件】 ・保険者の努力、国等への制度改正も踏まえた上で国民各自の負担もある程度止むを得ない【3件】 ・ も も両方必要【2件】 ・医療のあり方について、治療を受ける側も治療をする側も考える必要がある【1件】 ・何を意見しようが勝手に変わっていく【1件】 ・無駄な出費がまだまだ色々あるのでは【1件】 ・高齢者の医療費に対する意識がない、処方された薬を飲まないとか【1件】 ・安い給料なので社会保険料のアップは絶対反対です【1件】 ・保健指導のやり方や、医療費の明細の配付方法などをもっと検討し、費用の削減もして欲しい【1件】 ・過大投薬・検査はしない事。健康寿命を延ばすよう、予防医療、ライフワークバランスの適正化、スポーツの推進、健康教室を手軽に参加できるようにする【1件】 ・重要性の低い給付をなくす、減らす【1件】 ・無駄な医療にかかる人をなくすべき【1件】 ・保険制度をスリムにして、高齢化に対応できる制度にすべき【1件】 ・被保険者も知識を得て保険料抑制に取りくむべき【1件】 ・薬をもらうとき、管理指導料を負担しますが、毎回同じ薬なのに、そのたびごとに負担するのはおかしい。同じ薬のときは無負担にすることで医療費の減少につながるのでは【1件】 ・過度の延命治療など減らす必要がある【1件】 ・後期高齢者の医療費の見直し【1件】

## 職場における健康づくりについて

問12 貴事業所で取組んでおられる従業員の方の健康づくりについて教えてください。なお、産業医を設置しておられる事業所様においては、併せて産業医を活用した健康づくりの取組について教えてください。

### 健診・研修会・産業医を活用した取組み

- ・年1回従業員に健康診断を受けさせている。
- ・1年おきに事業所が費用を負担し、ドッグ並みの健診（眼底検査・腹部超音波検査などを追加した健診）を行っている。
- ・年2回の健康診断の後、各々の結果を基に生活習慣など改善すべき点（努力目標）を文書に残し、その後の安全教育講習会（4月と11月に実施）で達成できたかどうか検討している。
- ・産業医の巡視の時に健康面について相談のある社員へ面談を実施。
- ・健康診断100%受診の推進、健康診断精検者へ受診の推進。
- ・検診結果を産業医に見て頂き、コメントをつけてもらい再検の必要な人は、再検査、精密検査へ行く様（紙に書いて渡し）声かけをし、その結果を会社へ自分で報告してもらう様にしています。保健指導の案内を頂いた人は必ず受けてもらう様にしています。
- ・健康診断でピロリ菌検査を実施予定、保菌者の除菌をその後検討。
- ・人間ドック受診費用の補助。産業医による健診、人間ドック結果のチェックと指導。安全衛生委員会での取組み協議と対策決定・実施。

- ・がん健診（乳がん・子宮がん・大腸がん）を促進するために費用を事業所で負担している。産業医による保健指導（定期健康診断の結果をふまえて）
- ・健康相談、健康診断の結果をデータ化して公示している。
- ・定期的に産業医の先生による研修会を実施している。
- ・職員を対象とした健康に関する研修（年1回、産業医に依頼） テーマ H25胃腸の病気 H26うつ病（うつ状態）
- ・健康教育、産業医の立場からアドバイスをいただく。職場巡視に関し、チェック項目に従い産業医、衛生管理者が実施。健康教育の実施「インフルエンザについて」「食中毒対策について」「メタボリックシンドロームについて」「VDT作業による疾病」「熱中症対策について」等予防と対応策を中心に職員の健康管理に役立たせている。
- ・産業医による定期相談を毎月実施し、血圧測定や体調不良者への健康相談への対応を行っている。
- ・安全衛生委員会時に、保健所より出前講座に来ていただき、講義していただいた。
- ・月1回心理カウンセラー来所。
- ・年に1回くらい、全社会議に講師を招いて、お話を聞いたりしています。今年は腰痛対策について講演をお願いしました。
- ・年2回の健康診断と腰痛健診の実施。産業医の配置と衛生管理者等による安全衛生委員会の毎月開催。産業医による健康に関する講演会・研修会の実施。・メンタルヘルス規程と腰痛予防対策指針と腰痛予防マニュアルの策定。「空気のきれいな施設や乗り物の登録事業所」「がん検診啓発協力事業所」の登録を受けて啓発活動を行っている。

## 運動に関する取組み

- ・毎朝のラジオ体操
- ・朝は毎日雨が降ってもラジオ体操を40年以上事務所でやっている。 （ラジオ体操を行っている 他65件）
- ・腰痛対策として、ベルトの購入（法人にて）
- ・体力づくり（日1回）にストレッチ・太極拳等を実施。
- ・できるだけEVを利用せず階段を利用する。
- ・昼休みにウォーキングや職場の階段の昇り降りをしている。職場内でのダイエット勝負など。
- ・月1回のノルディックウォーキング。
- ・最近2km以内従業員が自転車通勤をする様になった。（雨の日は車）
- ・歩いて通勤可能な人には歩いていただく。
- ・野球への活動支援、親睦会でもボーリングなど。
- ・グループ会社全体でのスポーツレク大会。
- ・ウォーキングしながらのゴミ拾い。
- ・スポーツクラブの法人会員。
- ・安全衛生委員会主催によるスポーツ大会。

- ・ダイエット週間の設定。
- ・法人内でスポーツ大会の実施。職員同士でチームを作り、他チームと一緒に合同でスポーツをしている。マラソン大会等事業所でチームを作り参加している。
- ・職員に向けてヨガ教室など行っている。
- ・社内にスポーツ部（フットサル）を作り全員参加を呼び掛けている。
- ・社員の親睦団体への補助。（年間のスポーツ大会等の活動費として）

## たばこに関する取組み

- ・衛生委員会で喫煙についてのアンケート調査（全職員対象）を行い、喫煙対策について話し合いをした。
- ・庁舎禁煙デーの実施。
- ・分煙による間接喫煙のなきよう対処している。
- ・喫煙場所を限定する。（店舗は禁煙）
- ・禁煙に取り組み、喫煙者0人に成功しました。
- ・なかなか禁煙できないので禁煙車を増やし、喫煙者に吸う時間を減らそうとしている。
- ・会社の屋内完全禁煙。

## 職場環境の改善・福利厚生などの取組み

- ・清掃作業は消費カロリーが多いので、従業員が運動不足解消のため、率先して行う。外温との差を少なくするため、エアコンの温度を調整する（心臓負担がかからないため）日常生活の中で少しでも運動量を増やす努力を各自している。
- ・夏場の熱中症対策、飲料水の準備、塩分の準備。
- ・健康診断で問題が見つかった場合等、本人と相談をし、受診をすすめたり、会社を取り扱っている健康食品等を差し上げたり、飲んでいただいたりしている。
- ・血圧計、体脂肪計を設置して測定を推進している。職業柄、熱中病等の対策を会議で取り上げている。
- ・残業を廃止して規則正しい生活ができるようにしています。
- ・残業時間の管理・ノー残業デーの設置。
- ・時間外労働が月に45時間を超える者で希望する者については、産業医の面接指導を実施している
- ・毎月1回朝礼時において血圧測定をしています。
- ・和食中心の給食。
- ・昼休みは帰れるものは家へ帰し、休むか、主婦は食事作りできる時間を作っている。
- ・昼休み、曜日を決めて地元野菜の販売（農家の方）に来てもらっています。
- ・インフルエンザの予防注射を毎年全職員に義務的に受けさせている。もちろん経費はすべて事業主負担としている。

## 情報提供・社員への啓発に関する取組み

- ・だんだん健康、パンフレットの回覧。健康増進ポスター掲示。
- ・体力を使う仕事ですが、動いているのに皆さん、お腹まわりが大きくなってきています。私も含め、大きくなるとリスクが増えることも理解して、いろんな情報を共有して健康でしっかり働けるようがんばります。
- ・社内に設置の安全衛生推進委員会や全体集会の場にて、協会けんぽ島根支部からのメールマガジンやだんだん健康の情報のほか、産業医からのタイムリーな健康対策情報を提供している。
- ・社内SNSでの「だんだん健康」に載っていた「へるし~レシピ」の紹介、健康についての発信をしています。
- ・各部署ごとに、健診結果を分析し、有所見率を下げるための取組みを決めています。例えば「油ものを控え、マヨネーズはハーフのものにするなどバランスの良い食事をとる」「毎月のスタッフ会議で職員同士声掛けをする」「ケーキやアイスなどの間食を減らす」等。
- ・以前送付頂いたチラシに健康チャレンジをされている業者の方の本文を読み、従業員の意識付けのために第1回を企画しました。今後も展開していこうと思っています。再検査については上司のバックアップもとって全員受診を目指しています。
- ・健康支援室による病院広報での健康づくりの記事、喫煙のよびかけ、ストレスチェック等。
- ・毎月安全委員会実施時同席してもらい、産業医からの指導、情報を受けて、社内へ気をつけるよう注意喚起を行っている。